

環境白書

【平成25年度報告】

沖縄県

環境白書の発行にあたって

沖縄県は、亜熱帯海洋性気候の下、美しいサンゴ礁が発達した青い海と多様な野生生物が生息・生育する緑豊かな島々から構成されております。

このかけがえのない豊かな自然環境を守り育て、将来の世代に引き継いでいくため、県では、「循環型の社会づくり」「人と自然の共生」「環境保全活動への積極的な参加」「地球環境の保全」「環境と経済が調和する社会づくり」の5つの基本目標を掲げ、第2次沖縄県環境基本計画（平成25年4月策定）に基づく各種施策に取り組んでおります。

また、平成26年度から、県内の小規模離島を中心に避難所や防災拠点施設等に再生可能なエネルギー等の導入を行なう「沖縄県再生可能エネルギー導入推進基金事業」を実施し、災害に強く低炭素な地域づくりを推進してまいります。

沖縄県における環境の現状は、依然として、赤土等の流出による河川や海域への影響、外来生物による生態系の攪乱や国内外からの海岸漂着物、米軍航空機騒音、地球温暖化等が課題となっております。

こうした環境問題に適切に対応していくためには、行政のみならず、県民、事業者、観光客等の各主体が沖縄県の環境の現状を把握し、一体となって環境へ配慮した取組を行なうことが重要と考えています。

この白書は、平成25年度における沖縄県の環境の現状と対策をまとめたものであり、本書が皆様の環境への関心と理解を深め、環境保全活動の取組に役立つことができれば幸いです。

平成27年3月

沖縄県知事 翁長雄志

